

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	都市計画総務一般事務	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課		
		予算科目	8 款 5 項 1 目	事業番号	3730	所属長名	三谷陽紀	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	迫田綱蔵		
法令根拠等	都市計画法、国土交通省令				実施期間	【開始】	令和 / 平成 18 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	令和	年度(予定)
	住みやすい都市空間づくり						☒ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	快適な都市環境の確保に努める。							
事業の対象	国、県、市の各行政機関及び都市計画区域住民			事業の目的	農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な活動を確保すべき整備、開発その他都市計画の適切な遂行を行い、公共の福祉の増進に寄与する。			
事業の内容（整備内容）	伊予市の土地利用動向、都市施設の整備状況など都市化の進展を考慮しながら、都市計画法による都市計画区域・用途区域の見直しなど総合的に検討し、快適な都市環境の確保に努める。			評価事業としないこととした理由	都市計画等の全般的事業に係る一般事務のため、妥当性・有効性・効率性の観点から評価することに意義を持ち得ない。			

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2 年度予定	9月末の実績	2 年度実績
直接事業費	137	1,081	0	0	0	712			0			
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	137	210	0	0	0	172						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	300	0	0	0	359			0			
一般財源	0	571	0	0	0	181						
職員の人工（にんく）数	0.20	0.10				0.10						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812			0			
※ 直接事業費＋人件費	1,735	1,862				1,493						
主な実施主体	直接実施	実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）							0			
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）					3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
					500	500	500	500	500	2,500		

事務事業評価（CHECK）

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	本事業費は、都市計画関係の申請受付に係る消耗品等の事務経費である。		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由	都市計画に関する各種の申請や受付に係る事務経費のため。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	